

英語1B (English 1B)					担当教員
					准教授 今井 千壽
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

英語運用能力を向上させるためには、まず基礎が確立されていることが不可欠であるが、最近はずしもそれが出来ていない傾向が見られる。そこで本授業では、文法・構文・語彙などに関して、科学的な文章を読み書きする場合特に重要と思われるものを選び、解説する。その上で、自然科学系の文章を教材にしつつ、大学での専門英語学習にもつながるような英語技能を養成する。CDによる聞き取りの練習も併せて行う。

【授業の一般目標】

基本的な英語の知識を確実に身につけ運用できるようにする。同時に、かなりの分量の長文を読み、その中の情報をすばやく的確に把握する能力の習得を目指す。

語学の学習には個人の不断の努力が必要であることを自覚し、真面目に授業に取り組んでもらいたい。

【準備学習(予習・復習)】

授業の性質上、予習は不要であるが、復習は是非してもらいたい。授業で扱った英文を読み直し、重要事項や語彙を確実に頭に入れて行くことが肝要である。また、ほぼ毎週宿題を課すので、必ず期限内に提出すること。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	イントロダクション	今井	講義の方針や進行方法等について理解する。
2	時制	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
3	能動態と受動態(1)	今井	能動態と受動態の違いや効果的な用法について学ぶ。
4	能動態と受動態(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
5	分詞(1)	今井	分詞、特に分詞構文について知識を整理する。
6	分詞(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
7	助動詞(1)	今井	様々な助動詞の意味の違いや用法について理解する。
8	助動詞(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
9	冠詞(1)	今井	不定冠詞・定冠詞・無冠詞の使い分けを学ぶ。
10	冠詞(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
11	仮定法(1)	今井	仮定法の多様なパターンを理解する。
12	仮定法(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
13	句読法	今井	様々な句読点(記号)の使い方について学習する。
14	その他	今井	上記以外の文法事項について確認する。
15	総括・まとめ		

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 Closing the Culture Gap	Timothy Kiggell	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE

リーディングに関してはプリント配布

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を中心に、出席点、課題の提出、授業中の貢献度などを併せて評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワーは水曜と金曜の16:00～17:30。質問等があれば、育心館4Fの研究室まで来て下さい。メール(imai@mb.kyoto-phu.ac.jp)でも受け付けます。所用でオフィスアワーを持ってないときもあるので、メール等で事前に確認すること。